

令和3年度（2021年度）

事業計画

〈主な事項について説明〉

◆「4. 施設概要-(5)当年度の児童数」において、
「年間を通した月平均児童数」は、『出生数の減少』や『雇用環境の悪化』などから、
前年度見込み(R2)に比べ合計で▲3.3人の「161.0人」と見込んだ(少子化及び
新型コロナウイルス感染症の影響を考慮)。⇒予算案に詳細あり

◆同・(6)職員数において、
保育士数(育休などを含む在籍数)は前年度に比べ▲7人の「36人」とした(R2の
途中退職と年度末退職が計8名(常勤換算で6.7名)～家庭状況や育児、本人
の病気・高齢、夫の転勤などの理由による)。

◆新たに「10.感染症拡大防止対策」を事業項目とし、児童及び職員の衛生管理を
徹底することとした。

なお、『新型コロナウイルス感染症の拡大防止』を図るため、「11.地域との交流
事業」、「12.小学校との連携」、「13.主な行事予定」、「14.職員研修」においては
上記と同様に、児童及び職員の感染防止を前提とする事業計画案とした。

1. 事業年度

令和3年4月1日～令和4年3月31日

2. 施設

名称： ほくと保育園 ～ 児童福祉法(昭和22年法律第164号)第35条第4項に基づき児童福祉施設(保育所)

所在地： 北海道室蘭市高砂町3丁目11番48号

3. 事業の目的

(1) 産休明けの乳児から就学前までの幼児を対象とし、就労等による保育を希望する家庭の育児支援を行う。また、子どもの発育過程に応じた保育を行い、保護者との情報交換を大切にしながら、心身ともに健やかに育成されるよう支援を行っていく。

(2) 地域社会に貢献する取組として、地域の高齢者等を支援する福祉サービスを提供する。

4. 施設概要

- (1) 敷地面積 : 3,399.58㎡
- (2) 建築面積 : 1,451.44㎡
- (3) 延床面積 : 1,328.85㎡
- (4) 建物の構造 : 鉄筋コンクリート造 平屋建

(5) 児童数[予算人員](各月4/1の平均)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
施設利用定員	(12)	(18)	(24)	(26)	(35)	(35)	(150)
R2(見込み)	14.8	29.1	32.5	27.8	34.9	25.3	164.3
R3予算	13.0	23.0	34.0	29.0	27.0	35.0	161.0
差引	▲ 1.8	▲ 6.1	1.5	1.2	▲ 7.9	9.7	▲ 3.3

※別添「参考資料」(合計は、四捨五入のため内訳の計と合わない)
 ※予算資料で説明

(6) 職員数[予算人員]

嘱託医(医1人・歯2人)を除く

・R2年4月1日(前年度)

(人)

職種	施設長	保育士	保育支援員	看護師	調理員	補助員	事務員	本部事務局	計
在籍数	1	43	1	5	6	2	1	3	62
(うち休職中)		(うち保育士2名が6月と9月に産休・育休入り)			産休・育休入り1名(調理)		(1)		(1)

(ほくと保育園・計59名) 育休中1名(事務)

・R3年4月1日(予定)

(人)

職種	施設長	保育士	保育支援員	看護師	調理員	補助員	事務員	本部事務局	計
在籍数(人件費予算)	1	36	1	5	6	2	1	3	55
(うち休職中)		(2)			(1)				(3)

育休中～2名(保育士):7月・10月に復帰予定 (ほくと保育園・計52名) 育休中1名(調理)5月復帰予定

<対前年4/1増減>

(▲7)

(▲7)

5. 「全体的な計画」

- (1) 保育理念～ 子ども一人一人を大切に、保護者から信頼される保育園、地域に根差す保育園を目指す
- (2) 保育方針～ 子どもが健康・安全に過ごせる環境を作り、子どもを心に受けとめ、様々な活動や体験を通じて、豊かな心・主体性が育つよう援助する
- (3) 保育目標
- ①心と体が健やかな子ども
 - ②自主的に活動できる子ども
 - ③よく考えやり抜く子ども
 - ④学ぶ意欲がある子ども
 - ⑤人の話を聞き自分の思いを話せるある子ども
 - ⑥お友達と仲良く遊べる子ども
 - ⑦思いやりがある子ども

このほか、『全体的な計画』では、年齢別の保育目標、「保育所の社会的責任」、「小学校との連携」、「健康支援」、「食育の推進」、「環境・衛生管理、安全管理」、「災害への備え」、「子育て支援」、「職員の資質向上」、「情報公開」、「地域の実態に対応した保育事業と行事への参加」、「特色ある教育と保育・体力づくり」、「自己評価(保育に関する自らの評価)」等について策定している。

6. 保育時間等：

開所時間 午前7時30分～午後7時30分
保育時間 午前8時30分～午後4時30分

7. 特別保育事業：

「乳児保育」、「障害児保育」、「病児保育(自園・体調不良児対応型)」

「延長保育」	①保育標準時間認定	18:30～19:30
	②保育短時間認定	7:30～8:30及び16:30～19:30

8. 完全給食の実施等

～食育の推進と安全・安心な食事を提供し、3歳以上児では継続して完全給食を実施する。
「食育だより」の発行。R1.10月から3歳児以上は保育料の無償化に伴い「給食費」を徴収。

9. 安全、事故防止対策

～避難訓練(火災、地震など毎月)、「不審者侵入対応訓練(室蘭警察署の協力)」、
消防設備点検(年2回)、職員検便(毎月、「ノロウイルス抗原定性検査」を含む)、
SIDS(乳幼児突然死症候群)予防点検～0歳児:毎日)、
「ヒヤリハット集計・分析(四半期ごと)」、自主点検チェック表(毎月:安全点検、遊具)、
「お迎え時の保護者確認の徹底(専任の「補助員」を配置)」

10. 感染症拡大防止対策

～新型コロナウイルスなどの感染症の予防や拡大防止のため、「手洗い」・「うがい」などの日常的な衛生管理を徹底するほか、令和2年度に引き続き、必要な衛生用品や備品などの在庫状況の常時管理及び不足する物品等については早期に補充する。また、今後の児童及び職員の感染を想定した訓練や、ノロウイルスなどによる「嘔吐物の処理」などの模擬訓練を繰り返し行い、感染症の拡大防止策に万全を期す。

11. 地域との交流

(1) 地域社会に貢献する取り組み

～保育園の施設・設備などを、地域の「高齢者と住民の交流の場」に提供したが、
新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先するため、実施可能な状況と判断できる場合に限る。

- ①ステージや園庭などを、町会・老人クラブ・ボランティア等の行事に活用してもらう。
・年1回～2回程度、基本的に無料
- ②「室蘭市民オーケストラ」に練習会場を提供(ホール貸出し、H26から夜間に毎月2回程度)

(2) 地域の人たちや様々な団体等との交流

～以下については、新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先するため、上記と同様とする。

- ・「観劇」・「発表会総練習」を公開、「地域の方参観日」
- ・「七夕祭り」での地域訪問(近隣のお宅、お店)
- ・「室蘭豊学校」、「東翔高校」、「海星学院高校」との交流

12. 「小学校との連携」

～「保育園だより」と「学校だより」の交換・掲示、各校(天神小・室蘭豊学校)の学会会見学や児童交流フェスティバルへの参加、小学校参観日に参加(職員)。なお、児童及び職員が他との接触を伴う連携事業については上記11と同様とする。

13. 主な行事予定

～新型コロナウイルス感染症拡大防止に万全を期すため、R2と同様に、「入園式」、「卒園式」、「運動会」、「発表会」など保護者が参加・参観する行事は、児童の貴重な経験となり、かつ、思い出に残るよう職員がさらに工夫を重ねるが、各行事の目的や内容によって、『短時間かつ簡素化』、『人数の制限や歳児別入れ替え』、あるいは『参観なし』等々の方法を駆使して、以下の実施を予定する。

(1) 「恒例行事等」

～入園式、卒園式、お誕生会(各月)、豊学校との交流(各月)、餅つき(5月)、七夕会、夕涼み会(父母の会主催)、運動会(9月)、ピオトープ体験・バス遠足・芋掘り(6月～10月)、発表会(12月)、そり滑り(1月)、お茶会(2月)、ひな祭り会(3月)、健康診断(2回)、歯科検診、交通安全教室

(2)「世代間交流」

～老人施設との交流、卒園児との交流、「東翔高校プラスバンド部」及び「海星学院高校茶道部」との交流、「お茶会」

(3)「その他」

- ①ろう学校との交流(毎月交互に訪問、「…フェスティバル」、「学芸会」)
- ②“歩いて”市場見学、“路線バスに乗って”中島神社・中島公園
- ③「からだづくり教室」(地区サッカー協会の指導で、年10回程度、サッカーやゲームを楽しむ)

14. 職員研修(予定)

～国の加算の対象(処遇改善等加算Ⅱ)となる「指定研修」のほか、職場内及び外部研修の受講を通じて、職員の意欲や専門性の向上を図る。併せて、『研修履歴』を職位の発令要件としていることから、その成果が生かせるよう個人別の「キャリア・パス」を構築していく。

- ◆「職場外研修」～ 道社協・道保協などの「指定研修」、民間やNPOなどによる研修
※当分の間は、R2と同様、“オンライン”方式により受講する(大型ディスプレイを活用し自園にて行う)

◆「職場内研修」～

- ①OJT活用により、保育現場の実践に生かしていく。
- ②クラス単位で行う自主研修 ～「4歳児クラス/心とからだのほぐし遊び」など
- ③感染症対策講習会(既述10再掲)～自園でノロウイルス・新型コロナウイルス等の発生を想定した模擬訓練を繰り返し行う。
- ④外部から講師を招き、さらなるスキルアップをめざした研修を実施する。

[外部講師を招く研修(職場内研修)のうち主なもの]

- ・「障がい児保育」研修(H27から継続)⇒当分の間オンラインで実施予定
～北海道札幌あいの里高等支援学校長(小島義勝氏)
『グッドイナフ:絵でわかること』ほか

ほくと保育園入所状況の推移 (各月初日在籍者数)

(単位:人、%)

歳児別	R2												月平均(確定)	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	児童数	入所率
0歳(12)	10	11	11	12	12	13	15	17	17	16	20	23	14.8	122.9%
1歳(18)	30	30	30	29	29	29	29	28	29	28	29	29	29.1	161.6%
2歳(24)	34	34	34	33	33	33	31	32	32	31	31	32	32.5	135.4%
3歳(26)	29	29	28	28	28	28	27	27	27	27	28	28	27.8	107.1%
4歳(35)	35	35	35	35	35	35	35	35	35	34	35	35	34.9	99.8%
5歳(35)	26	26	26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25.3	72.1%
合計(150)	164	165	164	162	162	163	162	164	165	161	168	172	164.3	109.6%
当年4月比	100.6%	100.0%	98.8%	98.8%	98.8%	99.4%	98.8%	100.0%	100.6%	98.2%	102.4%	104.9%	◆「年度当初4月との差」⇒①年度末3月と比較(+)-8人、②年平均と比較(+)-0.3人	

歳児別	H31(R1)実績												月平均	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	児童数	入所率
0歳(12)	6	7	10	14	18	20	20	20	21	21	21	21	16.6	138.2%
1歳(18)	30	30	32	32	32	32	32	31	32	32	32	32	31.6	175.5%
2歳(24)	29	29	29	30	30	30	28	28	29	29	29	28	29.0	120.8%
3歳(26)	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35.0	134.6%
4歳(35)	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25.0	71.4%
5歳(35)	24	24	24	24	24	24	24	23	23	23	23	23	23.6	67.4%
合計(150)	149	150	155	160	164	166	164	162	165	165	165	164	160.8	107.2%
当年4月比	100.7%	104.0%	104.0%	107.4%	110.1%	111.4%	110.1%	108.7%	110.7%	110.7%	110.7%	110.1%	◆「年度当初4月との差」⇒①年度末3月と比較(+)-15人、②年平均と比較(+)-11.8人	

歳児別	H30実績												月平均	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	児童数	入所率
0歳(12)	13	15	16	16	17	18	20	20	21	21	22	23	18.5	154.2%
1歳(18)	30	30	30	29	30	30	29	28	28	27	28	29	29.1	161.6%
2歳(24)	35	36	36	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35.2	146.5%
3歳(26)	26	24	24	23	23	23	24	24	24	23	23	24	23.8	91.3%
4歳(35)	26	26	26	26	26	26	27	27	27	26	26	26	26.3	75.0%
5歳(35)	34	33	33	33	33	33	34	34	34	34	34	34	33.6	96.0%
合計(150)	164	164	165	162	164	165	169	168	170	166	168	171	166.3	110.9%
当年4月比	100.0%	100.0%	100.6%	98.8%	100.0%	100.6%	103.0%	102.4%	103.7%	101.2%	102.4%	104.3%	◆「年度当初4月との差」⇒①年度末3月と比較(+)-7人、②年平均と比較(+)-2.3人	

歳児別	H29実績												月平均	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	児童数	入所率
0歳(12)	10	10	13	14	15	17	18	18	19	21	21	21	16.4	136.8%
1歳(18)	27	27	28	28	26	26	26	26	26	27	28	28	26.9	149.5%
2歳(24)	28	27	28	27	26	27	27	27	27	26	27	27	27.0	112.5%
3歳(26)	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	25	25	24.2	92.9%
4歳(35)	33	33	33	33	33	35	35	36	35	34	34	34	34.0	97.1%
5歳(35)	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36.0	102.9%
合計(150)	158	157	162	162	160	165	166	167	167	168	171	171	164.5	109.7%
当年4月比	99.4%	102.5%	102.5%	102.5%	101.3%	104.4%	105.1%	105.7%	105.7%	106.3%	108.2%	108.2%	◆「年度当初4月との差」⇒①年度末3月と比較(+)-13人、②年平均と比較(+)-6.5人	

歳児別	H28実績												月平均	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	児童数	入所率
0歳(12)	11	9	11	12	13	13	14	17	17	19	23	24	15.3	127.1%
1歳(18)	26	27	28	29	29	27	28	28	28	28	28	28	27.8	154.6%
2歳(24)	20	22	24	24	24	24	23	24	24	23	23	23	23.2	96.5%
3歳(26)	34	33	34	35	34	34	33	33	33	31	32	32	33.2	127.6%
4歳(35)	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35.0	100.0%
5歳(35)	27	27	27	28	28	28	28	29	29	30	30	30	28.4	81.2%
合計(150)	153	153	159	163	163	161	161	166	166	166	171	172	162.8	108.6%
当年4月比	100.0%	103.9%	103.9%	106.5%	106.5%	105.2%	105.2%	108.5%	108.5%	108.5%	111.8%	112.4%	◆「年度当初4月との差」⇒①年度末3月と比較(+)-19人、②年平均と比較(+)-9.8人	

H25に運営を開始、「年間の月平均児童数」が160名を超えるH28から表示。

逆崎

保育理念		子ども1人1人を大切に、保護者から信頼される保育園、地域に根ざす保育園を目指す					保育目標		・心と体が健やかな子ども ・自主的に活動できる子ども ・よく考えやり抜く子ども ・学ぶ意欲がある子ども ・人の話を聞き自分の思いを話せる子ども ・お友達と仲良く遊べる子ども ・思いやりがある子ども				
保育方針		子どもが健康・安全に過ごせる環境を作り、子どもの心を受け止め、様々な活動や体験を通じて、豊かな心や自主性が育つように援助する。					保育目標						
子どもの保育目標 (保育目標・保育の内容とも年間指導計画の基礎事項・年間指導計画等は別紙)		乳児	生理的欲求を満たし生活リズムをつかむ	3歳児	身近な仲間や自然等の環境と積極的に関わり、意欲を持って活動する	主な行事 (日常の節目としての行事設定)	入園式/各クラスでその日生まれた子の誕生会/毎月のお誕生会/健康診断/身体測定/歯科検診/保育参観日/子育て講演会/春のバス園外保育/ピオトーブ観察体験/茶道体験(年3回)/観劇会/七夕会・七夕地域訪問/お祭りごっこ/高校生との世代間交流/クラス懇談会/運動会/老人との交流/秋のバス園外保育/高校生とのお茶会/地域の方参観日/発表会/クリスマス会/小学生との交流/豆まき会/交通安全教室/個人面談/ひなまつり/卒園児とのお別れ会/卒園式/進級式						
		1歳児	行動範囲を広げ探索活動を盛んにする	4歳児	信頼感を深め、仲間とともに感情豊かな表現をする								
		2歳児	象徴機能や想像力を広げながら集団活動に参加する	5歳児	集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる								
■保育所保育に関する基本原則/役割目標		■保育の方法/環境		■保育所の社会的責任		■養護に関する基本的事項		■保育の計画と評価		■幼児教育を行う施設として共有すべき事項		◎小学校との連携(接続)	
児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図る。保育に関する専門性を有する職員が、養護及び教育を一体的に行う。保護者支援及び地域の子育て支援等を行う。		健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を整え、一人一人の発達過程に応じ、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、生活や遊びを通して総合的に保育する。保護者を理解し適切に援助する。		人権に配慮する。子どもの人格を尊重し保育を行う。地域社会との交流や連携を図り、保育の内容を適切に説明する。個人情報等を適切に取り扱う。保護者の苦情解決を図るよう努める。		養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行う。養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育を展開する。		保育の目標を達成するため、方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえた保育の内容が組織的・計画的に構成され総合的に展開されるよう、全体的な計画を作成する。これに基づき指導計画、保健計画、食育計画等を作成する。保育士等の自己評価、保育所の自己評価を行い、公表し、保育内容の改善を図る。		生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育の目標を踏まえ、資質・能力の3本の柱を一体的に育むよう努める。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、ねらい及び内容に基づく保育活動全体を通して資質・能力が育まれている子どもの小学校就学時の具体的な姿であり、保育士等が指導を行う際に考慮する。		保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活や遊びを通じて、主体的な生活態度などの基礎を培う。育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教師との意見交換、研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなどして、保育所保育と小学校教育との円滑な接続に努める。子どもに関する情報共有に関して、就学に際し、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにする。	
■保育の目標		ア 子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。 (ア)生命の保持及び情緒の安定を図る (イ)心身の健康の基礎を培う (ウ)愛情と信頼感、人権を大切にすることを育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う (エ)生命、自然及び社会への興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培う (オ)言葉への興味や関心を育て、言葉の豊かさを養う (カ)豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う					イ 入所する子どもの保護者に対し、その意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育所の特性や保育士等の専門性を生かして、その援助に当たる。						
■養護(保育士が行う事項)		年齢	乳児	1歳児(満1歳より)	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	◎小学校以上との連携に鑑みて				
		生命の保持	●生理的欲求の充実を図る	●生活リズムの形成を促す	●適度な運動と休息の充足	●健康的生活習慣の形成	●運動と休息のバランスと調和を図る	●健康・安全への意識の向上	育みたい資質・能力は小学校以上の個別の「知識や技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」につながるものである。				
		情緒の安定	●応答的な触れ合い ●情緒的な絆の形成	●温かなやり取りによる心の安定	●自我の育ちへの受容と共感	●主体性の育成	●自己肯定感の確立と他者の受容	●心身の調和と安定により自信を持つ					
◎ねらい及び内容並びに配慮事項(養護と教育は一体となって展開されることに留意)													
◎教育		(乳児)3つの視点	乳児	(満1-3歳未満満児)5領域	1歳児(満1歳より)	2歳児	(3-5歳児)5領域	3歳児	4歳児	5歳児	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目		
(園児が環境に関わり経験する事項) ※乳児は3つの視点、幼児は5つの領域で区分されている(基本的事項を十分に参照) ※指針では乳児と満1歳に区分されているので、満1歳を迎えた場合は1歳児の5領域を参照。		健やかに伸び伸びと育つ	●身体機能の発達 ●食事睡眠等の生活のリズム感覚の芽生え	健康	●歩行の確立による行動範囲の拡大	●排泄の確立 ●運動、指先の機能の発達	健康	●意欲的な活動 ●基本的生活習慣の確立	●健康への関心 ●体全体の協応運動	●健康増進とさらなる挑戦への意欲	ア 健康な心と体 イ 自立心		
		身近な人と気持ちを通じ合う	●特定の大人との深い関わりによる愛着心の形成 ●喃語の育みと応答による言葉の芽生え	人間関係	●周囲の人への興味、関心の広がり	●自己主張の表出 ●友達との関わりが増大	人間関係	●道徳性の芽生えと並行遊びの充実	●仲間との深いつながり	●社会性の確立と自立心の育成	ウ 協調性 エ 道徳性・規範意識の芽生え		
		身近なものとの関わり感性が育つ	●身近なものとの関わり感性が育つ ●身体の諸感覚認識による表現	環境	●好奇心を高める	●自然事象への積極的な関わり	環境	●身近な環境への積極的な関わり	●社会事象への関心の高まり	●社会、自然事象へのさらなる関心と生活への取り入れ	オ 社会生活の関わり カ 思考力の芽生え		
		言葉	●言葉の獲得 ●話しはじめ	言葉	●言葉のやり取りの楽しさ	言葉	●言葉の美しさ、楽しさへの気付き ●生活の中での必要な言葉の理解と使用	●伝える力、聞く力の獲得	●文字や数字の獲得による遊びの発展	キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚			
		表現	●いろいろな素材を楽しむ	●象徴機能の発達とイメージの膨らみ	表現	●自由な表現と豊かな感性の育ち	●豊かな感性による表現	●ダイナミックな表現 ●感動の共有	ケ 言葉による伝え合い コ 豊かな感性と表現		「知識及び技能の基礎」 ア 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする 「思考力、判断力、表現力等の基礎」 イ 気付いたり、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする 「学びに向かう力、人間性等」 ウ 心情、意欲、態度等が育つ中で、よりよい生活を営もうとする		
★健康支援/状態把握・増進・疾病対応		★食育の推進(食育計画別紙)			★環境及び衛生管理並びに安全管理(危機管理計画別紙)			★災害への備え(避難計画等別紙)		◆子育て支援(子育て支援計画別紙)		△職員の資質向上(研修計画別紙)	
●病児保育担当看護師が発育発達状態を継続的にデータ入力し把握する ●嘔吐医の健康診断(内科・歯科) ●登園・保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応 ●保健だよりの発行●SIDSの確認と記入 ●救急救命講習受講 ●職員の健康管理(年1回健康診断及び毎月1回の検便、腰痛検査、インフル予防接種)		●食育活動の実施 ●全園児へ炊き立て米飯の提供 ●行事食の提供 ●畑作りの実施 ●クッキング保育の実施			●施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ●感染予防対策指針の実施及び保護者との情報共有 ●安全衛生委員会による職場巡視 ●リスクマネジメント委員会による「年齢別チェックリスト」の記入 ●ヒヤリハットの記入及び四半期ごとに集計しグラフ化			●月1～2回の避難訓練の実施(火災、地震、津波、暴風雪、土曜日、残留、不審者対応、Jアラート発生、近隣火災) ●消防署視察 ●消火訓練の実施 ●被災時における対応と備蓄		教育及び児童福祉としての保育と、子育て支援の連携が図られ、子どもの成長に気付き、子育ての喜びが感じられるよう子育て支援に努める。		質の高い保育を展開するため、一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努める。保育所職員に求められる専門性を理解し、保育の質の向上に向けた組織的な取り組みを行う。職員による園内研修、専門講師を招いての園内研修、外部研修など体系的な研修計画を作成し、結果を活用する。	
情報公開等		●人権尊重 ●虐待確認保護 ●個人情報保護 ●苦情処理解決対応及び第三者委員 ●看護師の専門者の配置 ●適正な園運営のための会計事務所による外部監査 ●ホームページの開設					特色ある教育と保育		●運動教室による体作り ●茶道教室体験(5歳児) ●0歳児からの歯磨きの取り組み				
地域の実態に対応した保育事業と行事への参加		保育教諭の確保により乳児保育を含む3歳未満児の受け入れを推進し、対応する。連合町会との連携行事、町内会の敬老会等の地域の行事に参加する。(社会及び地域貢献)。					研修計画		●保育指針対応の園外・園内研修 ●道社協・道保協研修への積極的参加 ●講師を招いての園内研修 ●他施設視察見学				
自己評価等		●保育所の評価(全体の反省により全体計画等へ反映する) ●自己チェックリストでの保育士自己評価(自己評価と子どもの評価の確立)及び全員の評価をデータ化 ●危機管理マニュアルの作成、習得					保育所保育指針の各章とマークの対応 第1章=■ 第2章=◎ 第3章=★ 第4章=◆ 第5章=△						